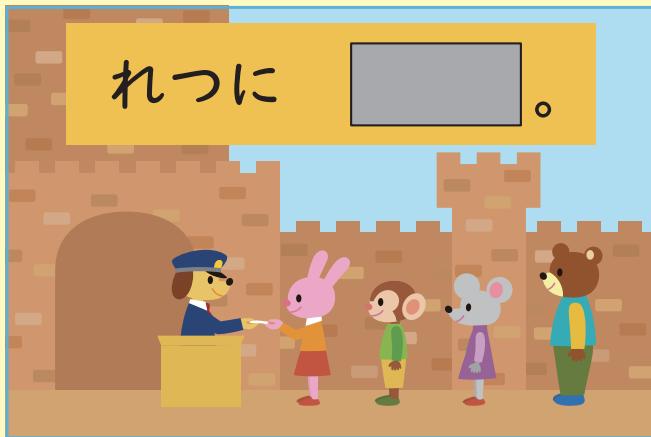
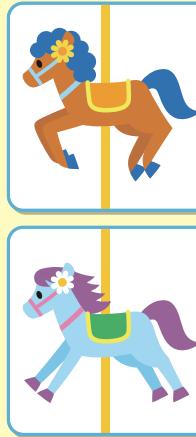


えをみて にあうことばをえらぼう。

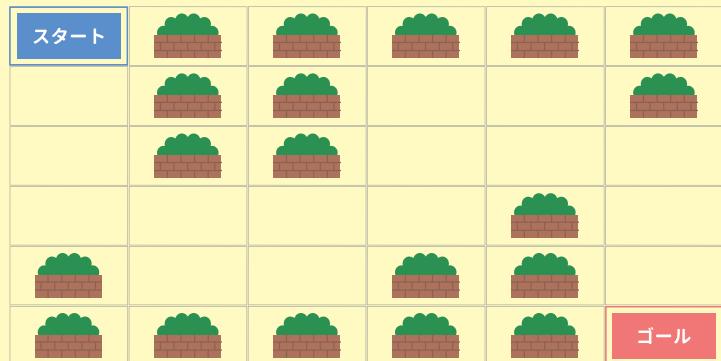


さけぶ  
うかぶ  
ならふ

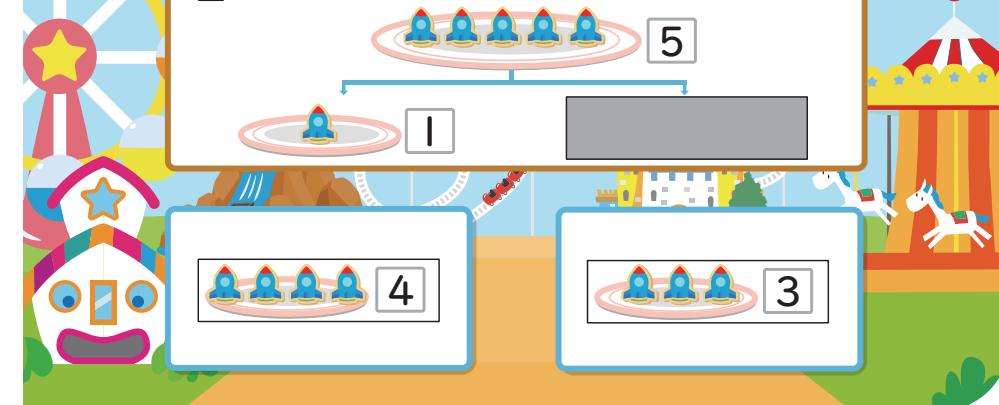
はなをつけた ちゃいろの うまを 2こ えらぼう。

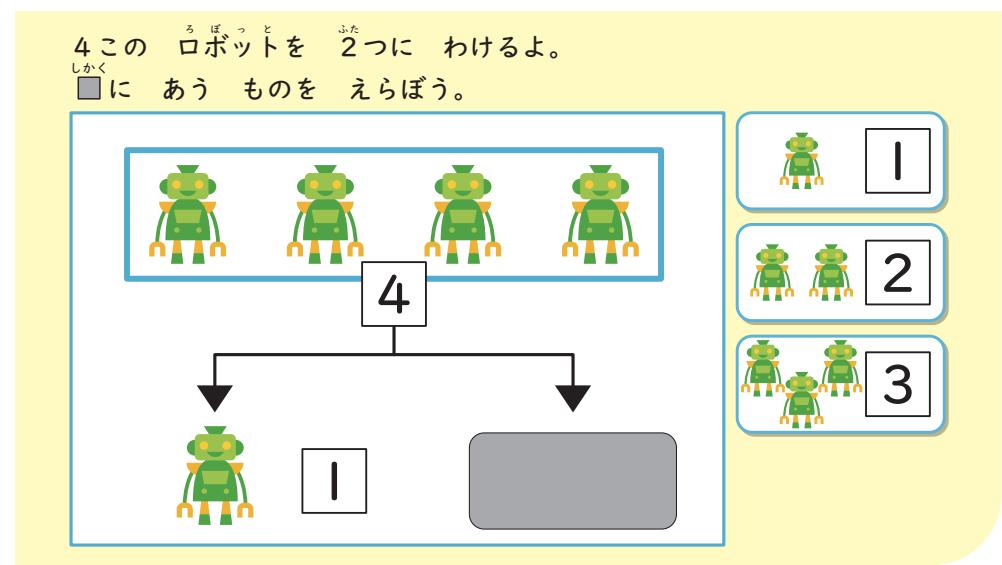
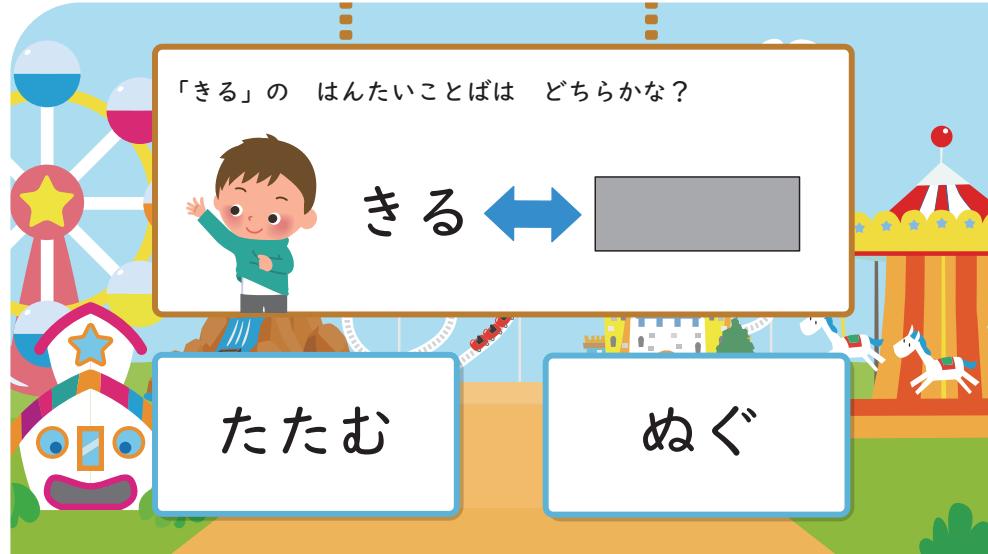


ちょうせん！かだんがないところを ぜんぶ  
いかいだけとおって ゴールまで いこう。

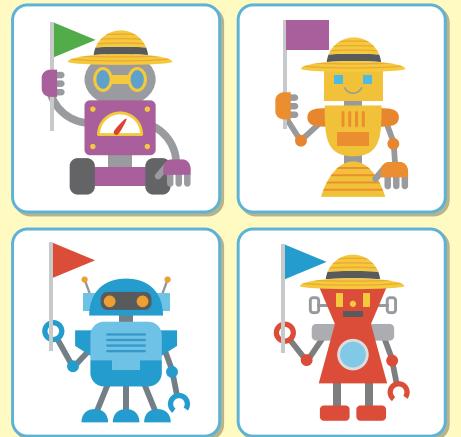


くつきいふた  
クッキーを 2つに わけるよ。  
にあうのは どちらかな？

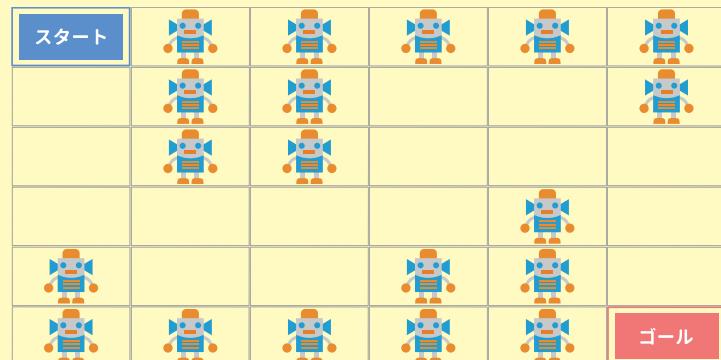




ぼうしを かぶっていて さんかくの はたを  
もっている ロボットを 2こ えらぼう。

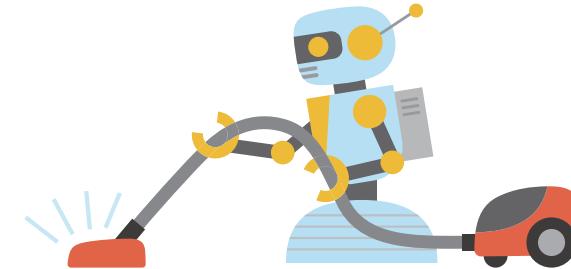


ちょうせん！ ロボットが いない ところを ぜんぶ  
「かいだけ」とおって ゴールまで いこう。



えを みて に あう ことばを えらぼう。

そうじきを 。



たべる  
かける  
はしる  
ふる

協力いただいたかた

監修：沢井佳子

指導協力：新保京子／内海礼子

編集協力：石川千歳／(株)あいげん社

アートディレクション：坂本デザイン室

デザイン：(株)ローヤル企画

イラスト：(株)アット／仲西太／はりたつお(株)ラボメン

表記について

〈こどもちゃれんじ〉では、外国語、外来語、ひらがなにすると不自然な擬声語などは、原則としてカタカナで表記しています。カタカナ語の長音（伸ばす音）のふりがなは、「シール」は「しいる」というように直前の言葉の母音としています。ただし「お」段のみ例外として「ゴール」は「ごうる」というように、ふりがなは「う」としています。これは、ひらがなで長音「おとうさん」「きょうだい」などと同様の扱いをするためです。(福武国語辞典にのっとる)